

令和2年度 第7期第1回

丹波市下水道事業運営審議会

議 事 録

令和2年11月24日(火)
氷上住民センター

1. 開会日時 令和2年11月24日(火) 午後1時28分 開 会
2. 開催場所 氷上住民センター
3. 出席者 (委 員)
- | | | |
|---------------|---|---------------|
| 坂 谷 高 義 会 長 | 、 | 中 塚 達 子 副会長 |
| 大 野 亮 祐 委 員 | 、 | 上 村 行 男 委 員 |
| 笹 川 一 太 郎 委 員 | 、 | 竹 内 安 紀 委 員 |
| 内 堀 恭 子 委 員 | 、 | 中 道 知 代 子 委 員 |
| 荻 野 隆 太 郎 委 員 | 、 | 吉 見 温 美 委 員 |
| 大 槻 祥 三 委 員 | 、 | 大 森 友 子 委 員 |
| 宮 崎 葉 子 委 員 | 、 | 近 藤 寛 委 員 |
| 梅 田 秀 光 委 員 | 、 | 吉 見 和 幸 委 員 |
- 委員 16 名出席
4. 欠席者 (委 員)
- | | |
|-------------|----------|
| 細 見 博 美 委 員 | 委員 1 名欠席 |
|-------------|----------|
5. 事務局 井上博生 上下水道部長、 荒木敏明 経営管理課長
 西山健吾 下水道課長、 畑 幸一 水道課長
 安達知史 経営管理副課長、 須原貞彦 経営管理係長
 矢持竜児 下水道経理係長、 青木一典 下水道施設係長
 和久明一 下水道工務係長、 鶴身友也 主 事

6. 会議に付した議題及び案件とその内容

- | | |
|--------|---------------------|
| 日程第 1 | 開 会 |
| 日程第 2 | 委嘱書交付 |
| 日程第 3 | 市長あいさつ |
| 日程第 4 | 委員紹介 |
| 日程第 5 | 正副会長の選出 |
| 日程第 6 | 会長あいさつ |
| 日程第 7 | 資格審査報告 |
| 日程第 8 | 議事録署名人選出 |
| 日程第 9 | 報告事項「令和元年度決算概要について」 |
| 日程第 10 | その他 |
| 日程第 11 | 閉 会 |

7. 議事の経過

1. 開 会 『午後 1 時 28 分』

(事 務 局)

定刻より少し早いですが、委員の皆様お揃いでございますので、ただ今から本年度第 1 回目の丹波市下水道事業運営審議会を開催させていただきます。

本日の司会をさせていただきます、下水道課長の西山と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

本日委員の皆様には、公私何かとお忙しい中、ご出席を賜りまして、ありがとうございます。

それでは会議に先立ちまして、本審議会の設置についてご説明をさせていただきます。

本審議会は、丹波市下水道事業運営審議会の設置に関する条例第 2 条に基づき、市長の諮問機関として設置することになっております。

委員の皆様には 2 年間でございますが、どうぞよろしくお願ひいたします。

今回は、平成 19 年に設置されてから第 7 期目の初めての丹波市下水道事業運営審議会ということで、この後、正副会長を委員の中から選任いただきますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

2. 委嘱書交付

(事 務 局)

それでは、委嘱書の交付に移ります。

本来であれば、市長から交付させていただきますのが本意でございますが、本日は公務のため欠席させていただいておりますので、代わりまして上下水道部長の井上より交付をさせていただきます。

また、委員お一人お一人に委嘱書をお渡しするのが、本意でございますが、時間の都合上、委員を代表して大野委員に、ただ今から委嘱書の交付をさせていただきます。

その他の委員の皆様方には申し訳ございませんが、自席に委嘱書をお配りしておりますので、ご確認をお願いいたします。

3. 市長あいさつ

(事 務 局)

それでは、井上部長より挨拶を申し上げます。

(部 長)

上下水道部長をしております、井上と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。本日は丹波市下水道事業運営審議会の開催にあたり、ご挨拶をさせていただきます。

本日は第7期第1回目の審議会を開催しましたところ、それぞれご予定もあります中ご出席を賜り誠にありがとうございます。

ご承知おきかと思いますが、今年度4月の組織改編に伴い、柏原に事務所のありました水道部を春日庁舎に移転させまして、建設部下水道課と統合し、新たに上下水道部として春日庁舎の3階のフロアに水道課、下水道課、経営管理課の3課と上下水道お客様センターを配置いたしまして、1箇所ですべて市民サービスを行い、利用していただきやすい行政組織に変更しております。

また、下水道課は春日庁舎の2階に配置をしておりましたが、3階に事務所を移転させておりますので、市民の皆さんにわかりやすいように案内誘導を大きくしたり、3階までの階段に工夫を凝らした広報をしておりますので、また春日庁舎の方にお越しいただきたいと思っております。

3階までは、できればエレベーターを使わず、階段を上っていただければ、階段のところの広報をご覧いただけると思っております。

少しお疲れになるかもしれませんが、消費カロリーも表示をしておりますので、ダイエットをされているような方がいらっしゃいましたら、どれくらいカロリーが消費できたか一目で分かるようにした、そういった広報もやっておりますので、よろしくお願いたします。

さて、本日の審議会につきましては、ご審議いただく事項はございません。

第7期の会長、副会長をまずはご選出いただくということと併せまして、現在取り組んでおります下水道施設の統廃合事業の進捗状況、並びに令和元年度の決算概要についてのご報告をさせていただきたいと思っております。

令和元年度の決算では1億353万円の純利益を計上しておりますが、現状はご存知のように人口減少という社会情勢もありまして、下水道経営を取り巻く環境も、ますます厳しいものになって参ります。

この審議会では今後、会計の主な収入であります、下水道使用料や受益者負担金のあり方など、見直しを含めたご審議を賜りたいと考えておりますのでよろしくお願いたします。

加えまして、近年、雨の降り方が局地的、また短時間に集中化しておりまして、内水対策の重要性も高まってきております。

現在、下水道課では、内水排水の対策事業も行っております。

今年度からは、氷上地域の成松・西中地内の内水排水対策事業としまして、東部雨水排水場を新しくする整備に取り掛かっております。

事業費は約10億円、2年間の事業で令和3年度末に完成を目指して事業を行っております。

さて、委員の皆様にはこの審議会におきまして、丹波市の下水道を取り巻く課題に対しまして、率直なご意見をお出しいただくことを期待しております。

併せて、将来を見据えた健全で安定した下水道事業に向けてのご指導、ご助言を賜りますようお願い申し上げます、開会の挨拶とさせていただきます。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

4. 委員紹介

(事務局)

それでは、委員の紹介に移ります。

私の方から委員の皆さんを順番にお名前をお呼びさせていただきます。

(名簿に沿って紹介)

なお、この審議会にはもう一名、細見博美委員に参加いただく予定でしたが、本日所要により欠席されておりますので、ご案内のみさせていただきます。

委員の皆様には、今後2年間お世話になりますが、よろしくお願いいたします。

続きまして事務局の紹介をさせていただきます。(省略)

5. 正副会長の選出

(事務局)

続きまして、正副会長の選出ということです。

条例にもあります通り、本審議会の進行、とりまとめ等の会務をお世話になります会長・副会長の選出を互選にてお願いしたいと思います。

皆様ご意見等はございませんでしょうか。

本日初めての方もたくさんいらっしゃいます。

事務局の方で選出方法についてのご提案をさせていただいてもよろしいでしょうか。

～「異議なし。」～

(事務局)

異議なしのお声をお伺いしましたので、事務局よりご提案をさせていただきます。

当審議会は、識見を有しておられる方5名、使用者を代表される方12名で構成された団体でございます。

使用者を代表される方の中から会長、副会長を選出していただくということで、会長を丹波市自治会長会から推薦いただいた5名の中から1名、副会長を丹波市消費者協議

会から推薦いただいた5名の中から1名、それぞれ互選いただくという方法はいかがでしょう。

～「異議なし。」～

(事務局)

それでは、今から少しお時間を取らせていただきますので、別室を用意しておりますのでご相談いただきまして、それぞれの会の中から選出をお願いいたします。

それでは、自治会長会から会長候補として、坂谷高義委員のご推薦をいただきました。賛成される方は挙手をお願いします。

全員賛成ということで、坂谷委員どうぞよろしくをお願いいたします。

続きまして、副会長候補として、消費者協議会から中塚達子委員のご推薦いただきました。賛成される方は挙手をお願いします。

全員賛成ということで、中塚委員どうぞよろしくをお願いいたします。

6. 会長あいさつ

それでは会長あいさつに移ります。

坂谷会長、どうぞよろしくをお願いいたします。

(会長)

先ほど、推薦を頂きました坂谷と申します。

これまで、前期の会長をやってまいりましたが、もう一度ということでまたやらせてもらうことになりました。

この下水道の関係は、ほんとに大事な事業であります。

そして今度、谷口市長から林新市長に変わりますが、トップが変わろうとも一番大事な下水道、住民のための下水道事業ですから、我々審議会委員はその所を心して、これからも一生懸命みなさんも、よろしくお願ひしたいと思ひます。

(副会長)

皆様こんにちは。

こういうことは、ほんとに初めてで不慣れですので、どうぞよろしくお願ひいたします。

(事務局)

それでは、審議に入りたいと思います。

まず、審議に入ります前に、本日の資料の確認をさせていただきます。

事前に郵送させていただきました次第、委員名簿、令和元年度下水道事業決算状況、本日机上に委嘱書と共に、カラー刷りの下水道事業の現状と将来の課題という両面印刷の2枚ものを配布させていただいております。

7. 資格審査報告

(会長)

それでは、資格審査報告を事務局からお願いします。

(事務局)

失礼します。

本審議会の委員数は17名でございます。

丹波市下水道事業運営審議会の設置に関する条例第5条第2項の規定によりますと、「委員の過半数の出席がなければ、これを開くことができない」とあります。

本日、ご出席の委員は16名でございます。

よって審議会が成立することをご報告いたします。

8. 議事録署名人選出

(会長)

それでは、今回の議事録署名人の選出を行いたいと思います。

(事務局)

上村委員、笹川委員にお願いしたいと思います。

後日、本日の審議会の議事録が作成されましたら、郵送させていただきますので、内容を確認いただいて、署名捺印をしていただくという流れになります。

よろしく申し上げます。

(会長)

上村委員、笹川委員、よろしく申し上げます。

(事務局)

本日の審議会につきましては、公開となっておりますが、本日傍聴の方はございません。

9. 報告事項

(会 長)

それでは報告事項に移りたいと思います。

「令和元年度決算概要について」事務局より説明をお願いします。

(事 務 局)

—「令和元年度決算概要について」により説明（省略）—

(会 長)

ただ今、説明がありました内容について、ご意見・ご質問がありましたらお受けしたいと思いますが、いかがでしょうか。

(委 員)

お聞きしたいことと、提案したいことがあります。

1点目は、有収率の目標についてです。

私の持っているデータを見ると、全国では95%近くあります。

これについて丹波市がどういう目標を持っておられるかお聞きしたい。

2点目は、全体的に1㎡あたりの汚水処理原価の委託料についてですが、これは全体の3割を占めていますね。

できるだけ委託料がかからないようにするためにも、これは全国的な問題にもなっておりますが、このような委託料を下げていくということに何かやり方があると思いますので、この辺も取り組んでいただきたいと思います。

それと、もう1つよろしいですか。

未収金というのが2億円ほどあると思うのですが、最後の貸借対照表を見ると、この流動資産の中で、未収金がありますので、これもなかなか積み積もったお金だと思います。

前年の回収率はかなり高いとは思いますが、今後こういうのは、税務課とも連携しながらされていくのかと思っております。

そこで、実際のところどのような取組みを予定されているかお聞きしたい。

(事 務 局)

まず1点目については、下水道事業の有収率の目標は持っているのかということでしたが、現在有収率の目標というのは、今のところ持っておりません。

皆様には、下水道使用料をお支払いいただいておりますが、料金の対象になった水量を有収水量と言います。

その有収水量を実際浄化センターで処理した水量で割ったものが有収率ですが、令和元年度は 88.3%と大変高い数値となっています。

ここ 5 年を見ましても、平成 27 年度でしたら 81.4%、これに比べても令和元年度は高い数字となっております。

今、施設で一番新しいところが概ね築 15 年を経過しており、古いところで氷上中央は 30 年以上経過しているものもあります。

概ね 30 年が経過しますと、地下にマンホールと塩ビパイプを繋いでいるジョイントはコンクリートで巻いたりしているのですが、そういう隙間からかなりの雨が降った時に、不明水となって入ってきております。

先ほどの決算書の決算内容の 1 ページ、平成 30 年度をご覧くださいと思います。

平成 30 年度は 7 月豪雨災害があり、下水道施設もかなり被害に遭い、82.7%という有収率でございました。

それから、汚水処理水量は年々減少しているのですが、この年は雨が多かったせいで、前の年に比べても増加に転じております。

一方、お金になった水量であります有収水量は、前年度に比べて減少しているという状況でございまして、そういった不明水が多くなる雨が多い年については、有収率がどうしても下がってしまうという状況です。

このように下水道は、かなり天候に左右される事業となっており、その解消に向けて今、取り組んでおります。

どうしても地中を流れる水は、なかなか止め難いというのが下水道事業の課題です。

できるだけ全国平均には近づきたいと思い、経営努力は進めております。

次に 2 点目の質問、委託料が高いということについてです。

委託料の中には色々な科目がございまして、丹波市内公共下水道と特定環境保全公共下水道の施設が 11 ヶ所ございます。

中でも、その施設の維持管理をしております施設管理委託料が、一番高いという状況でございます。

それが税抜きで 1 億 6,000 万円ほどかかっております。

それに次いで汚泥処分委託料。下水道処理施設から出る汚泥を脱水してできるだけ水分を少なくし、岡山県のほうに搬出するという委託をしております。

このような委託料については高く、維持管理費の中でもかなり高い経費となっております。施設の維持管理は柏原と山南、氷上、春日と市島の 3 つの業者に分け、プロポーザルをした中で、5 年間の債務負担で維持管理委託をしています。

できるだけ安い提案も含めて、委託料を下げる努力はしておりますし、汚泥処分委託料についても、以前ですと単年度の契約でしたが、複数年契約をしてできるだけ安くなるような形で努力をしております。

最後に、未収金についての質問にお答えします。

7ページの貸借対照表を見ていただきますと、240,139,797円という未収金が年度末にございます。

その内訳につきましては、下水道使用料にかかる未収金が1億4,400万円ということで、約半分。それ以外は、一般会計からかなり下水道は繰入してもらっているのですが、そちらの方が約5,000万円、県からの事業費に関わります補助金が5,000万円、以上が主なものとなっています。

この下水道使用料1億4,400万円については、水道事業に徴収を委託しており、1か月遅れで下水道事業の会計に入ってきますが、3月31日現在3月分で集金された分については、まだ振替ができていないため1億4,400万円という大きな額になっています。

実際に回収が難しい額については、概ね3,000万円で、つまり1億1,000万円ほどが1か月後には入ってくるというような状況です。

(会 長)

他にございませんか。

ご意見がないようですので、令和元年度決算状況についてはこれで終わりたいと思います。

10. その他

(会 長)

続きまして、その他でございます。

事務局より統廃合についての報告をお願いします。

(事 務 局)

それではその他ということで、今回は統廃合について、新たに委員になられた方もいらっしゃると思いますので、全体的な概要と進捗状況についてお話をさせていただきます。

—「丹波市下水道施設統廃合事業について」説明（省略）—

(会 長)

ただ今、説明がありました内容について、ご意見・ご質問がありましたらお受けしたいと思いますが、いかがでしょうか。

(委 員)

1点だけ、お聞きしたいのですが、確かにこうして統廃合したり、長寿命化することによって、更新費などを抑えるということですが、来年最後となる中期ビジョンについて、今後修正はされるのでしょうか。

(事務局)

丹波市下水道事業中期ビジョンについては、来年が一応目標年度になっています。

その大きなものの1つが統廃合事業、あと先ほども申しましたが、雨が降った時に下水道の中に浸入する不明水の対策もその中に入っています。

中期ビジョンを策定し取り組んでいる統廃合事業については、現在3処理区で次の処理場へ送るような工事を完了しております。

しかし、当時の計画以降に平成26年に市島地域で大きな災害があり、そこで下水道施設がかなり被災しましたので、その事業に2年から3年かかっており、実際のところ下水道中期ビジョンの下水道施設統廃合については、3年から5年遅れております。

この件については、またあらためて審議会の方に諮問をさせていただき、審議していただくことになると思いますが、中期ビジョンはその継続で数年は進めていきたいと考えております。

それから、機器や施設もかなりの数がございまして、ストックマネジメントという考え方で、どの機器、施設から直していくかという計画を立て、実際に国庫補助金を頂きながら、現在取り組んでおります。

現在1,000億円の下水道の施設の資産があったうちの半分500億円を借金で、残りの半分は補助金で賄っておりますが、かなりの数があり過ぎ、また人口の減少もあることから、それをそのまま50年ごとに同じだけ投資し更新することはできません。

統廃合をしながら、機器の更新をする数をできるだけ減らしていこうという方向で取り組んでおります。

(会長)

他にございませんか。

(委員)

氷上北ですが、資料の「3.事業実施予定」には統廃合の計画が何も入っていませんね。

でも、「2.統廃合全体図」では、丸で囲まれたところには入っています。

平成29年くらいに水問題を解決した頃に、市からコミプラの分を氷上北の施設へ持って行きたいという話がありました。

そこで「いつ頃ですか」と聞き、「10年後にはしたい」という相談を市から受けたのですが、「こちらは、今は水問題が終わったところなので、この話は一旦置いておいて欲しい」というところで止まっていたと思います。

そもそもこの計画はあるのですか。

いつ頃にされる計画があるのか、お聞きします。

(事務局)

この下水道施設統廃合というのは、新たな投資をできるだけ抑えるための計画で、基幹になる処理場の余剰があって初めて統廃合するという形になります。

現在、氷上北浄化センターについては施設の稼働率がかなり高いので、鴨内と日比宇のところにあります氷ノ川第一浄化センターと、井中と御油にあります氷ノ川第二浄化センターで処理をする水を、氷上北浄化センターでは、まだ受け入れることができないので、現在の計画ではまだ先になっています。

具体的に言いますと令和 25 年とかで、まだ 20 年以上先ですが、氷上北の処理水量が落ちてきて、ようやく統合ができるようになる、というような状況でございます。

ちなみに兵庫県が事業を運営しております、加古川上流域下水道というのが、小野市のあたりから北部に位置しております、複数市の下水道を処理しております。

そちらの方に、もし統合できるのであれば、加古川流域についてはそちらに統廃合していきたいと考えております。

もう市内では処理をしないという方向のほうが、将来的には良いと思いますので、あと 20 年後までにそういった話が進められるのであれば、検討されるかと思っております。

今のところは、氷上北の処理場を大きくしない限り、受け入れることはできないといった状況でございます。

(委員)

ということは、初めの計画にはあったんですね。

(事務局)

計画的にはあります。

(委員)

以前に、10 年後にはしたいという風に考えているということで、市からわざわざ相談に来られたのですが、こちらとしてはちょうど水問題が済んだばかりだったので、少し待っていて欲しいと言っていましたので、いつ頃になるのかということで、質問したのですが。

今のところはまだですね。

(事務局)

まだです。受け入れられる状況ではありませんので。

氷上北浄化センターの下水処理に、その分の余力が出てくるようであれば 20 年後より前に実施したいとは考えております。

(委 員)

自治会に対し、市から10年先にはしたいという話があったが、あの当時地元では、今は水問題が終わったばかりで、この話は止めておいて欲しいと市に伝えているということを自治会の皆には言っていたので、再確認させてもらいました。

(事 務 局)

平成29年の時の資料では、平成56年というような資料を付けていました。かなり前の審議会ですので、その後の説明が不十分でした。大変申し訳ございません。

(会 長)

よろしかったでしょうか。他にございませんか。
無いようですので、本日の審議会につきましては、これで終了したいと思います。
閉会にあたりまして、中塚副会長から挨拶をお願いしたいと思います。

11. 閉 会

(副 会 長)

閉会にあたりまして、一言ご挨拶させていただきます。
先ほどから色々聞かせていただきまして、皆さま本当に努力をしていらっしゃるのだなどあらためて分かりました。
私達の生活の中では下水道事業というのは本当に大切なもので、きちんとしていただかないといけないということと、皆さんの努力がよく分かりました。
ありがとうございました。
そして委員の皆さま、ご審議していただきありがとうございました。
今後とも色々のご意見、ご審議をよろしくお願い申し上げて、閉会の挨拶とさせていただきます。
ありがとうございました。

『午後2時43分』

令和2年11月24日

丹波市下水道事業運営審議会 会長 坂 谷 高 義

丹波市下水道事業運営審議会委員

㊟

丹波市下水道事業運営審議会委員

㊟